

概要

Boston Scientific の LATITUDE® NXT 患者管理システムは、患者の自宅に設置した LATITUDE NXT Wave™ コミュニケータを用いて、医師が患者やデバイス情報を定期的にモニターできます。医師は、この情報を LATITUDE NXT ウェブサイトで確認し、来院診療を補うことができます。

ここでは、患者様の電話ダイヤル方式と国に合わせてコミュニケータを正しく設定する方法について説明します。また、その他の接続方法を使用した場合の正しい設定方法について説明します。

関連製品

LATITUDE NXT 患者管理システム
LATITUDE NXT Wave Communicator
モデル 6498、6280、6288、6290

ここに掲載された製品は、Boston Scientific Corporation または系列企業の登録商標または未登録商標です。その他の商標はいずれもそれぞれの所有者に帰属します。

ここに掲載されている製品の中には、一部の国や地域によっては認可されていないものもあります。この内容は、薬事申請の適用される国における使用を想定しています。機器の動作に関する総合的情報は、添付文書および取扱説明書を参照してください。

注意: 連邦法 (米国) の規制により、本製品の販売は、医師または医師の指示による場合に限定されています。特に明記していない限り、画像はすべて Boston Scientific Corporation の提供するものです。

CRT-D: 心再同期治療機能付き植込み型除細動器
CRT-P: 心再同期治療ペースメーカー
ICD: 植込み型除細動器
S-ICD: 皮下植込み型除細動器

お問い合わせ先

www.bostonscientific.com

米国

テクニカルサービス
LATITUDE™ カスタマーサポート
1.800.CARDIAC (227.3422)
+1.651.582.4000

患者サービス
1.866.484.3268

ヨーロッパ、中東、アフリカ

テクニカルサービス
+32 2 416 7222
intltechservice@bsci.com

LATITUDE カスタマーサポート
latitude.europe@bsci.com

日本

テクニカルサービス
japan.techservice@bsci.com
LATITUDE カスタマーサポート
japan.latitude@bsci.com

アジア太平洋

テクニカルサービス
+61 2 8063 8299
aptechservice@bsci.com

LATITUDE カスタマーサポート
latitude.asiapacific@bsci.com

© 2017 by Boston Scientific Corporation or its affiliates. All Rights Reserved.

LATITUDE® NXT Wave™ Communicator のスイッチの設定方法

LATITUDE NXT Wave™ Communicator は、無線テクノロジーを使って、患者様に埋め込まれた機器から安全なインターネットウェブサイトにてデータを転送する、家庭用モニタリングシステムです*。データは、3つの接続方法(携帯電話回線、インターネット回線、または標準固定電話回線)のいずれかを介してウェブサイトにて転送されます。

LATITUDE NXT Wave Communicator の設定

該当する場合(標準固定電話回線を介して接続する場合)、Wave™ Wireless Communicator (モデル 6498、6280、6288、6290)は、患者様の電話回線と国の場所のダイヤル方式に合わせて予め設定しておく必要があります。コミュニケータの底部に位置する8個の小型スライドスイッチを調整することで、地域の設定に合わせてコミュニケータを設定できます(図1)。

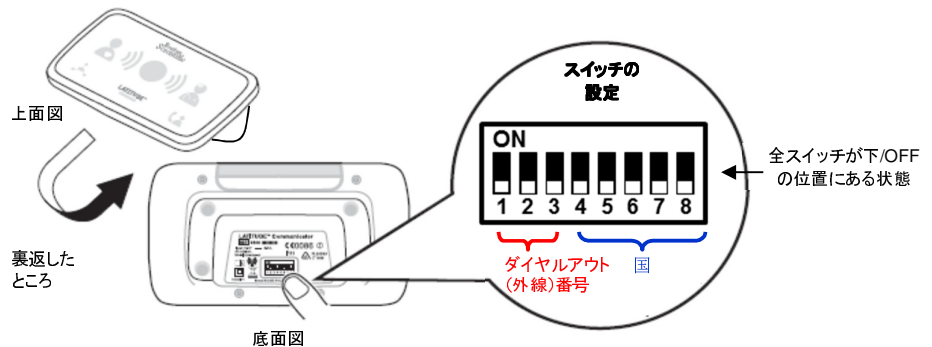


図 1. NXT Wave Communicator の底面にあるスイッチ。

スイッチ 1~3 (図 1) はダイヤルアウト(外線)番号を設定するために使用します。スイッチ 4~8 (図 1) は国を設定するために使用します。この小型スイッチは、スイッチを ON (上) の位置または OFF (下) の位置に手でスライドさせることで切り替えることができます。 **ヒント:** ペンなどを使用するとスイッチを上下にスライドしやすくなります。

LATITUDE NXT Wave Communicator のスイッチは、その個体が販売される地域でもっとも一般的なダイヤルアウト(外線)番号と国が事前設定されています。

- 事前に設定されたスイッチ位置が、患者様の自宅のダイヤルアウト(外線)番号と国番号に一致していることもあります。この場合は、スイッチ位置を変更することなく、直ちにコミュニケータを使用できます。
- 外部の電話回線に接続するために特別なダイヤルが必要な場合、あるいは、事前設定された国のスイッチ位置が患者様の自宅のある国と一致しない場合は、下記の手順を使用してコミュニケータのスイッチを調整します。

注意点: Boston Scientific Wave™ Communicator は、LATITUDE® NXT システムでサポートされています。地域によっては一部のモデルが承認されていないか、あるいは販売されていないことがあります。

*LATITUDE NXT システムは医療上の緊急事態に対処するように想定されていません。体調不良を感じた場合には、必要に応じて、担当の医師または救急医療サービスの番号に電話をしてください。

スイッチの設定

スイッチ 1～3 はダイヤルアウト(外線)番号を設定するために使用します。これらのスイッチを使用できるのは、固定電話回線またはデジタル電話回線(携帯電話またはインターネットなど)を介して接続する場合のみです。スイッチ 4～8 は国を設定するために使用します。これらのスイッチは、すべての接続タイプに使用します。固定電話回線の接続が使用できない国(サウジアラビアなど)では、8つのすべてのスイッチを正しく設定する必要があります。これについては、例外のセクションで説明します。

ステップ 1. 電話回線(アナログまたはデジタル)を介して接続する場合のスイッチ 1～3(ダイヤルアウト(外線)番号)の設定

「電話回線を使用する場合」

一部の固定電話回線では、ダイヤルするために、特別な「ダイヤルアウト(外線)」番号を指定する必要があります。たとえば、多くのビジネス施設(ホテル、医療施設、総合管理医療施設など)では、個人の回線から外部回線に発信するために、「外線用番号」を指定する必要があります。この場合は、コミュニケーターの底部にあるスイッチ 1～3 をこのダイヤルアウト(外線)番号に合わせて設定してください。たとえば、お住まいの建物でダイヤルアウト(外線)番号として「9」を指定する必要がある場合は、最初の 3 つのスイッチを次のように設定します。スイッチ 1 は ON(上)、スイッチ 2 は OFF(下)、スイッチ 3 は ON(上)。さまざまなダイヤルアウトオプションのスイッチ設定を表 1 にまとめています。**ほとんどの家庭用回線では、特別なダイヤルアウト(外線)番号が不要であることにご注意ください。この場合、スイッチ 1～3 は OFF(下)の位置のままにしておきます。**

「携帯電話またはインターネットによる接続方法を使用する場合」

携帯電話データネットワークまたはインターネットアダプタを介して接続する場合は、ダイヤルアウト(外線)番号は不要です。**スイッチ 1～3 は OFF(下)の位置のままにしておきます。**

表1. スイッチ1～3の位置(ダイヤルアウト(外線)番号を指定する場合)

ダイヤルアウト(外線)番号	スイッチ1	スイッチ2	スイッチ3	外観
なし	下/OFF	下/OFF	下/OFF	
0	上/ON	下/OFF	下/OFF	
1	下/OFF	上/ON	下/OFF	
7	上/ON	上/ON	下/OFF	
8	下/OFF	下/OFF	上/ON	
9	上/ON	下/OFF	上/ON	
*99	下/OFF	上/ON	上/ON	
パルスダイヤル方式 (日本のみ)	上/ON	上/ON	上/ON	

ステップ 2.すべての接続方法に対応する国の設定(スイッチ 4 ~ 8)。

コミュニケーターの底部にあるスイッチ 4~8をお住まいの国に合わせて設定する必要があります(表 2)。

外出先にコミュニケーターを持っていく場合は、以下のセクションを参照してください。

表 2. 使用する国に応じたスイッチ 4~8 の位置

国	スイッチ4	スイッチ5	スイッチ6	スイッチ7	スイッチ8	外観
米国	下/OFF	下/OFF	下/OFF	下/OFF	下/OFF	
オーストラリア	上/ON	下/OFF	下/OFF	下/OFF	下/OFF	
オーストリア	下/OFF	下/OFF	上/ON	下/OFF	下/OFF	
ベルギー	上/ON	上/ON	上/ON	下/OFF	上/ON	
カナダ	上/ON	上/ON	下/OFF	下/OFF	下/OFF	
チェコ共和国	上/ON	下/OFF	下/OFF	上/ON	下/OFF	
デンマーク	下/OFF	上/ON	上/ON	下/OFF	下/OFF	
フィンランド	上/ON	上/ON	上/ON	下/OFF	下/OFF	
フランス	下/OFF	下/OFF	下/OFF	上/ON	下/OFF	
ドイツ	上/ON	上/ON	上/ON	上/ON	上/ON	
ギリシャ	上/ON	上/ON	下/OFF	上/ON	下/OFF	
香港	下/OFF	上/ON	下/OFF	下/OFF	上/ON	
ハンガリー	上/ON	下/OFF	下/OFF	上/ON	上/ON	
アイルランド	下/OFF	下/OFF	下/OFF	上/ON	上/ON	
イスラエル	上/ON	下/OFF	上/ON	上/ON	下/OFF	
イタリア	上/ON	上/ON	下/OFF	上/ON	上/ON	
日本	上/ON	上/ON	下/OFF	下/OFF	上/ON	

国	スイッチ4	スイッチ5	スイッチ6	スイッチ7	スイッチ8	外観
メキシコ	上/ON	下/OFF	上/ON	下/OFF	上/ON	
オランダ	下/OFF	下/OFF	上/ON	上/ON	下/OFF	
ニュージーランド	下/OFF	上/ON	下/OFF	下/OFF	下/OFF	
ノルウェー	下/OFF	上/ON	上/ON	上/ON	上/ON	
ポーランド	下/OFF	上/ON	下/OFF	上/ON	下/OFF	
ポルトガル	下/OFF	上/ON	上/ON	上/ON	下/OFF	
スロバキア	上/ON	下/OFF	上/ON	下/OFF	下/OFF	
スペイン	上/ON	上/ON	上/ON	上/ON	下/OFF	
スウェーデン	下/OFF	下/OFF	下/OFF	下/OFF	上/ON	
スイス	上/ON	下/OFF	下/OFF	下/OFF	上/ON	
英国	下/OFF	下/OFF	上/ON	上/ON	上/ON	


例外：電話回線サポートがない地域(現在のサウジアラビア)

一部の地域では、電話回線(固定電話)を介した接続はサポートされていません。この場合は、インターネット接続で正常に動作させるために、8つのすべてのスイッチを正しく設定する必要があります。スイッチ1~8をお住まいの国に合わせて設定する必要があります(表3)。外出先にコミュニケーターを持っていく場合は、「外出先にコミュニケーターを持っていく」のセクションを参照してください。

固定電話のオプションがない国のスイッチ設定

表3は、お住まいの国でコミュニケーターを使用する場合の正しいスイッチ設定を示しています。外出先にコミュニケーターを持っていく場合は、「外出先にコミュニケーターを持っていく」のセクションを参照してください。

表3. スイッチ1~8の位置(例外の国)

国	スイッチ1/2	スイッチ3	スイッチ4	スイッチ5	スイッチ6~8	外観
サウジアラビア	上/ON	上/ON	上/ON	下/OFF	上/ON	

外出先にコミュニケーターを持っていく

コミュニケーターのモデル番号や接続方法によっては、LATITUDE Communicator を他国で使用できない場合があります。

- **モデル 6280、6288、および 6498** コミュニケーターは、ISM(米国、オーストラリア、およびカナダ)または SRD(ヨーロッパおよびサウジアラビア)の周波数帯を使用して、パルスジェネレーターと交信を行います。患者様の居住国以外でこれらのコミュニケーターを使用することは現地の法令に抵触する可能性があります。
- **モデル 6290** コミュニケーターは、MICS 周波数帯域を使用して、パルスジェネレーターと交信を行います。このため、モデル 6290 をご利用いただくことで、患者様は MICS 周波数帯に対応するすべての地域(米国、ヨーロッパ、日本、オーストラリア、カナダを含む)を訪れることができます。
 - **例外:** LATITUDE に対応する S-ICD を使用されている米国の患者様は、無線周波数法により他国でのコミュニケーターの使用を制限される可能性があります。
- 最初に設定した国以外に**コミュニケーターを持って行って固定電話回線の接続を使用する場合は**、スイッチを滞在中のダイヤルコードと国の場所に合わせて設定してください(表 2)。
一部の国では、電話回線のアクセス番号に変更を加えると、滞在中に追加の制限が適用される場合があります。
- 最初に設定した国以外に**コミュニケーターを持って行って携帯電話またはインターネットによる接続を使用する場合は**、スイッチはご自宅のある国の設定のままにしておいてください(表 2 または 3)。

ご不明な点については、Boston Scientific LATITUDE カスタマーサポートにお問い合わせください。

本書で参照される機器の承認／認証情報(一部)を以下に示す。

販売名: ラティチュード Wave コミュニケーター 認証番号: 226ADBZX00186000